

## ニュース・年間行事

### ■2007年

- 11月1日 「薬用ナノインパクト レディ」の発売開始
  - ・DDSコンセプトに基づき、女性特有の脱毛メカニズムに注目した女性用育毛剤「薬用ナノインパクト レディ」を開発し、発売を開始。
- 11月5日 ニュースリリース：ホソカワのDDS研究が第80回米国心臓学会議で2年連続採択
  - ・2007年11月4～7日に米国オーランドで開催の第80回米国心臓学会議に4件の報告が採択され、九州大学江頭准教授のグループによって発表されることになった。
- 11月15日 ニュースリリース：血管再狭窄予防用「薬剤溶出型バルーンカテーテル」の共同研究開発契約の締結
  - ・ホソカワ粉体技術研究所、アンジェスMG(株)、メディキット(株)の3社間で、NFκBデコイオリゴコーティングした薬剤溶出型バルーンカテーテルの開発に関する共同研究開発契約を締結。
- 11月30日 新本社竣工記念講演会・第14回ホソカワ粉体工学シンポジウムの開催
  - ・枚方本社の新社屋にて、東北大学井上総長の特別講演、ならびに「ナノ粒子プロセスによる材料の高機能化」をテーマにした3件の講演があり、120人の参加があった。

### ■2008年

- 1月24日 ホソカワ粉体工学振興財団贈呈式
  - ・恒例の贈呈式がホソカワミクロン本社にて開催された。本年のKONA賞は齊藤文良先生が受賞され、記念講演が行われた。参加者55名。
- 2月21～23日 ナノテク2006への展示
  - ・媒体攪拌ミルならびにFCMで作製したナノ粒子サンプル等を展示。
- 5月17～19日 インターフェックスジャパンへの展示
  - ・GMP仕様メカノフュージョンAMS-Mini、ダストフリーパウダテスト、タップ密度測定装置USP等の装置を展示。
- 4月5日 ホソカワ美容科学研究所の化粧品新製品「パウダリーモイスト」の発売開始
  - ・ホソカワ美容科学研究所の化粧品「ナノクリスフェアシリーズ」の新製品ナノコンポジットパウ

ダーの固体美容液パウダリーモイストPowdery Moistの発売を開始。

- 8月26日 ニュースリリース：新製品カートリッジ式パルスジェットコレクタの発売
  - ・従来に比べ設置面積が50%以下で、高い集塵効率を持ち、交換が容易で、既設の集塵機ハウジングにも取り付けが可能なカートリッジ式パルスジェットコレクタを開発し、発売開始。
- 7月20日 ホソカワ粉体工学振興財団への助成申請締切
  - ・本年度は、ナノパーティクルテクノロジーに関連したテーマを中心にした51件の研究助成を含めて162件の申請があった。
- 9月1日 第42回粉体工学に関する講演討論会の開催
  - ・テーマは「ナノパーティクルテクノロジー：応用・実用化への新展開」。参加者126名。
- 9月2日 ニュースリリース：「KONA」誌がWeb of Scienceに収録
  - ・ホソカワ粉体工学振興財団が毎年発行する国際論文集（英文）「KONA」誌が、学術論文集の影響度の指標と言われるトムソンサイエンティフィック社の引用文献データベースWeb of Scienceに収録、インパクトファクターの対象となる。正式名称を「KONA」誌から「KONA Powder and Particle Journal」に変更。
- 9月30日 ニュースリリース：難治性炎症性疾患を対象とする新規核酸ハイブリッドデコイの産学4者共同研究開発
  - ・HPTRIと、アンジェスMG(株)、(株)ジーンデザインおよび大阪大学大学院医学系研究科との間で、難治性疾患として医療ニーズの高い、難治性炎症性疾患に対するPLGAナノ粒子を用いたDDS医薬品開発を目指す産学4者共同研究開発を開始。
- 10月4日 タイ王国科学技術担当大臣Mr.Wutipong Chaisang視察団の来社
  - ・同大臣来社の機会にタイ王国科学技術開発庁NSTDAとHPTRIとの間でナノパーティクルテクノロジーを含む粉体技術に関する技術開発協力の覚書を締結。
- 10月6日 ニュースリリース：分級機内臓型乾式媒体攪拌ミル“PULVIS (プルビス)”の開発
  - ・乾式の媒体攪拌方式と高性能風力分級機のマッチングにより、従来の5分の1程度のエネルギーで



ナノ粒子等に関する技術開発協力の覚書を交換される  
HPTRI細川益男会長とタイ王国チャイセーン科学技術  
担当大臣（2008年10月4日）

サブミクロン粉体を得ることができる省エネ・高性能超微粉碎機を開発。

○10月8日 ニュースリリース：SOFC電極低温合成プロセス開発に対するJSTからの成功認定発表

・2005年3月から3年間、独立行政法人科学技術振興機構（JST）の独創的シーズ展開事業として企業化開発の委託（開発費約1.6億円の研究補助）を受けていた固体酸化物形燃料電池（SOFC）電極の低温合成プロセス開発に対し、JSTから『固体酸化物形燃料電池の低温合成プロセスの開発に成功』として認定され、発表された。

○10月28日～31日 国際粉体工業展東京2008に、下記の新製品を展示。

・乾式超微粉碎媒体攪拌ミル プルビス、微粉碎機 ACM-15H、超微粉分級機ツインターボブックス 200TTC、複合ナノ粒子製造システム ナノクリエータ FCM-MINI、卓上型分級機内蔵超微粉砕機AFG pico、高剪断力精密混合機サイクロミックス CLX-5Lを展示。

## 編集後記

本年は猛暑、原油高、世界的金融危機など厳しい環境の中、一方では北京オリンピックや、日本人4名のノーベル賞受賞などの明るいニュースもありました。その中で、ホソカワ粉体技術研究所（HPTRI）の前身であります細川粉体工学研究所は9月に50周年を迎えましたが、HPTRIはこの10月から新たな体制で研究開発ならびに分析評価技術を基にした事業展開をさらに推し進めています。

粉碎誌本号は、2007年11月に開催された新本社竣工記念講演会・第14回ホソカワ粉体工学シンポジウム、ならびに2008年9月に開催された第42回粉体工学に関する講演討論会の講演内容を基にして編集されています。粉碎誌は一昨年発行50年を迎えましたが、これまでの同誌を振り返ってみますと半世紀にわたる粉体技術の変化が興味深く伺えます。これからの50年で粉体技術がどのように変化していくか想像が難しいところではありますが、一つの記録材料として本誌に関連記事や論文をご寄稿頂けましたら有難く存じます。

---

“粉碎” No.52 (2009)

2008年11月25日 発行

編集発行責任者 横山 豊和

発行所 株式会社 ホソカワ粉体技術研究所  
大阪府枚方市招提田近1丁目9

電話：072-855-2307

FAX：072-855-2561

印刷所 (株)NPCコーポレーション

大阪市北区天満1丁目9-19

---